

基礎から学ぶ、マネー&ライフ

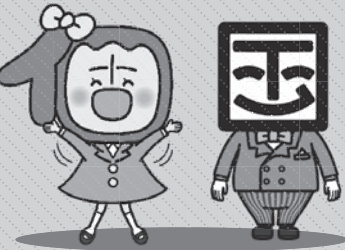
START!

安心・手軽に
コツコツ増やそう

ファイナンシャルプランナーが教える

「安心な資産運用のために知っておきたい基礎知識」

これからの時代、誰もが必要になる資産運用のスキル。ファイナンシャルプランナーの藤川太さんは、資産運用初心者には「個人向け国債がおすすめ」といいます。フリーアナウンサー青木裕子さん進行のもと、みなさんと一緒に安心な資産運用について学びましょう。



個人向け国債の
個性ちゃん
コクサイ先生



あおき ゆうこ
青木 裕子 さん



ふじかわ としお
藤川 太 さん

1983年生まれ。フリーアナウンサー。埼玉県出身。フリーアナウンサーとしてはもちろん、女性誌のモデルとしても活躍。

1968年生まれ。ファイナンシャルプランナー(CFP®認定者)として、3万世帯を超える家計を見直してきた「家計の見直し相談センター」の代表を務めているスペシャリスト。

「余裕資金」の把握が 投資の第一歩

青木 裕子さん（以下、青木）
安心な資産運用に興味を持つ人が増えていと言われています。資産運用を始めるにあたり、気をつけることはありますか。

藤川 太さん（以下、藤川）
資産運用では利益が出ることもあります。同時にリスクもあります。そのためたとえ運用に失敗したとしても、自分の生活に支障が出ないよう「余裕資金」で行うことが大切です。

青木 「余裕資金」の金額はどうすれば分かるのですか？

藤川 「家計がどれくらいか」という損失に耐えられるのか、「自分の心」のリスク許容度と、「自分の心」がどれくらいかという心のリスク許容度を、それぞれ考えてみましょう。この2つのリスクを比べて金額が小さいほうを「余裕資金」とし、投資の上限と設定するのがおすすめです。

初心者は 「安全資産」から 使いこなそう

青木 運用商品にはどのような種類があるのでしょうか。

藤川 おおまかにはリスク資産と安全資産に分かれます。リスク資産はリターンを期待できる代わりにリスクが高くなる商品のこと、株式や外国債券などがこれに当たります。一方、安全資産とはリスクが低く安全性重視の商品で、預貯金や日本国債がこれにあたります。低リスクですが得られるリターンも小さい商品です。

青木 リスク資産と安全資産の2つをどう使い分けていけばいい

いのでしょうか。

藤川 資産運用ではリスク資産と安全資産のバランスを考慮することが重要です。資産運用初心者は、安全資産の比率が高くなりがち。まずは安全資産を使いこなしましょう。とくに安全資産の中でも預貯金に比べて金利が高い債券に注目です。

青木 債券について詳しく教えてください。

藤川 債券とは、国や自治体、企業などがお金を借り入れるために発行する借入証書のようなものです。国や企業などの債券の発行者は、投資家から借入れたお金を用いて公共事業や設備投資などを行います。一方、投資家は貸したお金の額や期間に応じて利息を得ることができ、満期を迎えると額面金額が返ってくる仕組みです。

個人向け国債なら 1万円から購入できる

青木 債券の中でも特におすすめのものはありますか？

藤川 個人投資家には「個人向け国債」がおすすめです。個人向け国債は国が発行する債券で、満期時の償還も、半年毎の利子の支払いも国が行います。また経済環境などにより実勢金利が変動しても、元本部分の価格は変動せず、元本割れしない仕組みになっています。

青木 いくらから購入できるのでしょうか。

藤川 最低1万円から購入でき、購入時の手数料もかかりません。発行後1年以上経過すれば額面1万円単位で中途換金が可能です。ただし、直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685が差し引かれることに留意してください。

個人向け国債 6つの特長

初心者でも手軽に始めやすく、手堅く安心

元本割れの
不安解消

購入は
1万円から
OK!

国が発行
だから安心

中途換金も
1万円から!*

選べる
3つの商品!

0.05%^(年率)
の
最低
金利保証!

*発行後1年以上経過で換金可能です。
*直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685が差し引かれます。

さらに詳しい情報は特設サイトで!
<https://www.mof.go.jp/jgbs/individual/kojinmuke/>

個人向け国債



財務省

